

庶務 911号

昭和34年12月4日

科学技術庁原子力局長
佐々木 義武殿

日本学術会議事務局長
竹下 俊雄

原子炉の安全性について

本会議の原子力調査委員会は、去る12月2日 標記の件について
の報告会を開催し、日本原子力発電株式会社および原子力委員会
原子炉安全審査専門部会の方々から報告を伺い、そのことについて質疑
を行いました。そして、12月3日開催の原子力内閣委員会におい
て審議の結果、下記事項について原子力委員会の御配慮を頂く
旨強い要望がありました。

つきましては、原子力委員会によりよく取り計らって下さりよう
をお願いします。

記

- (1) 「原子炉の安全性について」は昭和34年10月19日付庶務
第815号をもって本会議事務局長から科学技術庁原子力局長
に申し入れたが、その事項については、未だ措置せられ
ず、早急に善処せられたい。
- (2) 日本原子力発電株式会社の原子炉の設置について、最終的に決
論がなされる前に、また、広く学界の意見を聴取せしめること
を望ましい。
- (3) 原子炉の設置については、設計、管理、運転の実施上絶対に守
らなければならない条件が多い。
つきましては、原子力委員会において、そのことが確実に履行される
よう体制の確立が望ましい。

c114-009-005